

2023年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果①

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	0	・環境面は定期的に見直し、工夫して行っている。 ・ワンルームだが空間を分ける努力はしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	0	1	3	・今年度は職員が1欠で一人一人の負担が大きかった。その中で工夫して行ってきたが、安全面や充実度の面でも増員は必要。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	0	・手洗い場が狭く、車いすの子は使用し辛い、構造上工夫にも限界がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	・目的の設定は常に口にして、チームで意識できるようにしている。振り返りの方にも力を入れていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	・アンケートをとりまとめ、出た意見を共有している。改善点を話し合い、実行までの過程のために活用している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	・従来の掲示板に加え、今年度からHP上で公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	0	・実習生やパートナーを積極的に受け入れ、その度に評価を聞くようにしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	・まだまだ回数は少ないが、研修や勉強会を行っている。来年度からは年間計画に基づいて機会を充実させていきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	・チームで利用児について話し合う機会は多い。現状のアセスメントが十分ではないので、見直していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	0	・使用はしているが、チーム内で活用ができていないのは懸念が残る。全員がもっと身近なものとしていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	・立案の際、内容を相談し合ったり、毎日反省会でモニタリングを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	・現状必要な事、興味のある事を共有し取り入れられている。 ・継続した作品作りという目的で、固定化することは増えた。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	0	・目的を必ず設定するようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	・グループ、個人での活動を増やし、ニーズに沿ったものを行うようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	・毎朝必ずミーティングを行い、目的、注意点、支援方法、役割分担等を当日リーダー中心に確認し合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	・必ず反省会を行い、個人個人の振り返りや活動内容の評価改善、ヒヤリ等の気付きを話し合っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	・記録は必ず取るようにしている。内容に関しては見直しや改善が定期的に必要な。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	・現状維持ではなく、より良い形を常にチームで考えるようにしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	2	2	0	・ガイドラインの内容を周知している職員が少ない。伝えていく。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	・児発管or担当が出席。参加前にチーム全体の意見を集約するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	0	1	・情報交換は送迎時に行っているが、気になった点を迅速に確認するといった連携意識は低くなってしまっていた。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	0	・緊急時の事を保護者と決めておくようにしている。

2023年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果②

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	0	・在園中は情報共有できているが、卒園後はできていない。相談員がついている子はそこを通して情報共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	0	・同法人とは連携できているが、他法人との連携は形になっていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	0	・センター主催の研修、勉強会に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	3	・機会は作れていない。実習生やパートナーの受け入れは行い、学生との関わりの機会は多く持てた。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	2	・今年度から日中に行う事になり、職員不足から中々参加できていない。来年度は参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	・保護者とは進んで話をするようにし、情報交換や共通理解を持てるようにしている。 ・家庭訪問を行いより詳しく共通理解を得ていきたい。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	2	2	・研修を開催し学んでいきたい。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	0	・状況に応じ管理者が伝えている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	0	・お迎え時や電話での対応で相談に応じている。事業所内相談の方も周知していきたい。 ・的確なアドバイスが行えるよう知識を高めていきたい。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	0	保護者参加イベントを初めて行い、保護者同士の交流の機会は持てた。定員の関係上、限られたが来年度は数回分けて行う事で全員対象としていきたい。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	・苦情・事故があればすぐに対応し、その日のうちに再発防止に取り組んでいる。汲み上げられていない苦情があるかもしれないので、その解決方法も考えていく
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	0	・今年度、初めて通信を発行した。定期的に継続していく。 ・FBを1W更新で行い、様子を伝えられるようにしている。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	・実習生等、外部が入った場合にも注意喚起している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	・わかりやすい言葉や視覚的提示を行い、意思伝達している。 ・絵カードを大幅に充実させた。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	1	・イベントごとに学生パートナーに参加してもらっている。招待は出来ていないが、神輿で近隣を担ぎ、交流が生まれている。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	0	・スタッフは周知しているが、保護者まで周知できていない。 ・通信、掲示板等を使用し周知していく。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	・年2回の避難訓練を行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	・法人全体と事業所名でも研修を行い防止に努めている。 ・行動規範を用い、定例会で話し合い意識を高めている。 ・環境面も大きく見直している
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	0	・支援計画に記載し、保護者に説明をしている。事業所内でも研修を行い、身体拘束についての確認や防止に務めている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	・行っている。アレルギーについては細かく保護者に意見を求めたりしている。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	・事例集はないが、ヒヤリハットは毎日の反省会で挙げている。それを毎月の定例会で振り返り、傾向は話し合っている。